令和７年度事業計画

Ⅰ　基本方針

１．市民の心身の健康と、安定した生活及び地域社会の発展に寄与するため、所有する施設と、鳥取市から指定された施設を適切に管理すると共に、それらの施設を活用し、生涯学習の推進、文化芸術及びスポーツの振興をはかる。

２．ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）への取り組みに加え、次世代の職員育成、働き方改革や健康増進活動に継続して取り組み、法人のイメージアップ、並びに組織力強化をはかる。

３．法人全体の魅力ある事業、会館運営などを広く市民に広報するため、ホームページやＳＮＳなどを活用した広報活動・情報発信を行い、集客数増加をねらう。

４．文化施設の再編後を見据え、法人として新施設の運営に参画できるよう、さらに組織力の強化や職員の資質向上をはかる。

５．昨年から導入したキャッシュレス決済の活用など、利用者の利便性向上を念頭に、引き続きよりよいサービス提供を模索、推進する。

６．鳥取市民会館・鳥取市文化センターを「麒麟のまち」における文化芸術の中心施設として位置付け、「まちづくり」「ひとづくり」を目標に「麒麟のまち・ひと未来プロジェクト」と題して、地域に根ざした文化芸術事業に取り組む。

Ⅱ　事業内容

１．法人の管理運営

一般財団法人鳥取市教育福祉振興会の事務・事業を適法、円滑に推進。

２．所有する教育、文化、体育施設の活用

（１）所有施設の管理運営

・鳥取市福祉文化会館
・国府町体育館

（２）所有施設の貸与

・鳥取市北青少年研修センター（久松会館）
　地区体育館並びに公民館としての活用
・河原市民プール（５０ｍ全水連競泳公認プール）
　６月から８月の期間、市民プールとして活用（９月に公認再取得予定）

（３）鳥取市福祉文化会館の機能移転に向けた取り組み

鳥取市において「ホール等文化施設のあり方に関する基本方針」が決定され、文化施設の再編に向け、「耐震性能が著しく低い施設については、優先的に対応する必要がある」とされている。

具体的には、鳥取市福祉文化会館（Ｉｓ値　0.29）を、施設再編の方向性が固まれば、他の再編対象施設よりも早い時期に機能移転、再配置していこ

うというものである。今後、鳥取市と協調し、関係者の理解・協力を得ながら、同館が円滑に機能移転できるよう取り組んでいく。

３．鳥取市文化センターの管理運営

市民の生涯学習の推進並びに学術及び地域文化の発展を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間の２年目を迎える。

（１）施設管理

① 鳥取市生涯学習センター
② 鳥取市視聴覚ライブラリー
③ 鳥取市文化ホール
④ 鳥取市こども科学館
⑤ サテライトオフィス（鳥取市福祉文化会館内）

（２）麒麟のまち・ひと未来プロジェクト（自主企画事業）

① 文化芸術によるまちづくり（７事業）

［合唱フェスティバルAmabile］

・クララとクロダの映画上映会
　市内自主上映団体と共催による親子および高齢者などの方を中心に楽しめる映画上映会
・ギャラリーコンサート
　麒麟のまち圏域など地元にゆかりのある音楽家によるコンサート（年４回）
・グランプリ・コンサート２０２５
　日本海テレビジョン放送（株）、（公財）日本室内楽振興財団との共催事業（年１回）
・麒麟のまち「合唱フェスティバルＡｍａｂｉｌｅ」
　麒麟のまちで活動する学生から一般の合唱団体による合唱祭（年１回）
・ミニアートギャラリー
　麒麟のまち圏域の芸術家や文化芸術団体による様々な芸術作品の展示会（年４回）
・わくわくホール体験ツアー
　小学生を対象とした舞台の裏側でのお仕事体験を通じて舞台機構や文化芸術への興味関心を育む（年１回）
・スタインウェイピアノを弾こう！
　世界の名器スタインウェイピアノを気軽に利用していただく体験会（春と秋の年２回、各２日開催）

② **文化芸術によるひとづくり**（１事業）

・舞台相談窓口（通年）

（３）鳥取市こども科学館事業

子ども達の思考力や発想力を育むため、事業の柱を年間講座、展示事業、企画事業、アウトリーチ事業、市民参画事業に分け、体験学習を主体に地域の社会活動に貢献します。

① **年間講座**

こどもが主体的に学び体験することができる講座の開催。わくわく科学、チャレンジ科学、科学、親子陶芸、ロボットプログラミングと電子工作、中学生のためのプログラミング、はじめてのプログラミングの６講座を開催。

［わくわく科学ワークショップ］

② **展示事業**（５事業）

全国科学館連携協議会との連携や実験機材を用いた遊びや観察を通じて科学への興味を喚起する。

・常設展示（通年）
・企画展「ものづくりアドバイザー作品展」（５～６月）
・企画展「じぶんでやる実験展」（８月）
・全国科学館連携協議会巡回パネル展「家の中のおじゃま虫」（１０月）
・宇宙の写真展（２月）

③ **企画事業**（１０事業）

プログラミングやドローン操作など新しいコンテンツを取り入れ、また地元団体との連携を図りながら様々な科学の情報発信を行う。

・ドローンの操縦を体験しよう（年６回）
・サイエンスショー（年４回）
・第３土曜日は工作体験（年１０回）
・レゴＥＶ－３自動運転プログラミング体験（１期３回）
・はじめてのプログラミング（３，４年生／年５回）
・親子でチャレンジ！夏休み工作教室（年１回）
・科学遊びをやってみよう！でー（年１回）
・フィールドワークショップ野鳥観察（年１回）
　【協力：日本野鳥の会鳥取県支部】
・作って遊ぼう！（年１回）
・宇宙ふしぎ探検（年１回）

④ **アウトリーチ事業**（１事業）

教育支援施設などに出向き、普段触れることができない科学の魅力を発信する。

・科学のふれあい実験体験（通年／回数、時期は調整）

⑤　**市民参画事業**（１事業）

市民ボランティア団体などによる実行委員会を組織し協働で、ものづくり体験などを通じて青少年の健全育成をはかる。

・鳥取こどもまつり（４月）

未就学児及び小学生を対象とし、体験ブース、工作ブース、ステージブース、特別企画を通じてこども達の思い出に残る体験イベントを開催する。

（４）生涯学習講座「麒麟のまちアカデミー」（鳥取市受託事業）

鳥取市生涯学習事業を一部受託し、高齢者向けの教養講座「鳥取市尚徳大学」、一般向けの教養講座「麒麟のまちアカデミー（教養コース・技能コース）」、市民工房「ファブラボとっとり」を企画・実施し、令和３年度より因幡・但馬の１市６町における広域での協調を図り、新しい生涯学習の価値創造や発展を目指す。

①　**鳥取市尚徳大学**

高齢者の社会的知識を高め、社会参加を促す学習機会を提供するとともに学習した知識を地域に還元する等、受講生の生きがいづくりを支援する。

ア　期　間　４月から１１月まで

イ　対　象　因幡・但馬麒麟のまち圏域在住又は在勤の概ね６０歳以上の方

ウ　講　座　書道（定員４０人）
彫刻（定員４０人）
絵画（定員５０人）
社会（定員８０人）
健康（定員８０人）
郷土（定員１００人）
園芸（定員４０人）
いきいき体操（定員２０人）

［鳥取市尚徳大学「絵画」］

エ　その他　合同学習２回、作品展、文集「年輪」第５１号発行

②　**一般対象生涯学習講座**

自由に学ぶことができる学習環境を整備するとともに、現代の社会的情勢や課題に対応した学習機会の充実をはかる。

ア　対　象

因幡・但馬麒麟のまち圏域在住又は在勤の方

イ　期　間

・教養コース　５月～３月
・技能コース　前期　５月～９月
　　後期　１０月～２月
・ジュニアチャレンジ　４月～１１月

ウ　講　座

・教養コース　全２６回

新麒麟のまち圏域連携講座、明治大学連携講座

目指せマイスター講座、鳥取放送文化講座、ジュニアチャレンジ講座

・技能コース　（前期）

書道、茶道、華道、メンタルヘルストレーニング、骨盤メンテナンス（各１０回）

（後期）

書道、茶道、華道、メンタルヘルストレーニング、むくみデトックス（各１０回）

③　ファブラボとっとり

世界のものづくりネットワークにつながる「ファブラボとっとり」の管理を通じて、「つくる文化」や「つくる技術」を市民に広め、市民の生涯学習の一助となる。

ア　開館時間

午前９時から午後５時まで

イ　休 館 日

毎週月曜日、年末年始

ウ　設置機器

３Ｄプリンター、レーザー加工機、刺繍ミシン、ガーメントプリンター

エ　企画事業

・会員研修（年１５回）

・夏工作ワークショップ（年１回）

・ＬＥＤライトを使ったクリスマス工作（年１回）

・刺しゅうミシン体験（年１回）

・ガーメントプリンター体験（年１回）

［電子工作とプログラミング］

④　市民教授ネットワーク

地域で活動している豊富な知識や技能をもつ人を発掘し、市内の公民館への派遣を仲介し、各種団体や市民の、主体的な学習活動を支援する。

また、鳥取市の各種生涯学習事業を受講した市民が、自ら得た知識をもとに、その成果を社会還元する場の提供をはかる。

期間：４月～２月

対象：鳥取市内の地区公民館、地区公民館を利用する団体

⑤　ものづくりアドバイザー

ものづくりアドバイザーの派遣により、小・中学生におけるものづくりに対する意識の啓発を行い、将来の鳥取市を担うものづくり人材の育成をはかる。

期間：前期（４月～９月）、後期（１０月～２月）

対象：鳥取市内在住の小・中学生

（５）**鳥取・放送文化ライブラリーの運営**（受任事業）
郷土に関する放送番組の保存、公開を通じて地方文化の向上に寄与する。
ふるさとの映像を見る会（毎月１回開催）

（６）**新第２５回日本のふるさと音楽祭（受託事業）**
「ふるさと」をはじめ数多くの童謡や唱歌を作曲した岡野貞一、田村虎蔵、永井幸次らの偉大な音楽家を顕彰するとともに、作曲家を育んだ「童謡・唱歌のまち」・「日本のふるさと」鳥取を広くアピールし、地域の文化芸術の振興ならびに交流人口の拡大を狙う。（９月）
① 地元出演者
鳥取市少年少女合唱団ほか
② ゲスト出演者
山本耕平（オペラ歌手）、高木玲（ピアノ）、尾前加寿子（オペラ歌手）

（７）**その他**
① 日進地区・吉方温泉三丁目町内会との消防訓練の開催
② 鳥取市立南中学校職場体験「わくわく南」など小中学生の社会体験活動の受け入れ。

４．鳥取市民会館の管理運営
市民の文化の向上と福祉の増進を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間の２年目を迎える。

（１）**施設管理**
（２）**麒麟のまち・ひと未来プロジェクト**（８事業）
・ミニアートギャラリー
市民が多様なジャンルの文化芸術に日常的に触れ合うことを目的とし、地元の文化団体による文化芸術活動の紹介と作品展示、またワークショップを開催する。近隣賛同施設の連携展示。（年３回）
・麒麟のまち和太鼓の祭典（中心市街地活性化事業）
麒麟のまち圏域の和太鼓団体による演奏会。伝統芸能の魅力を発信し、地域の文化芸術の振興をはかる。また、鳥取しゃんしゃん祭関連イベントとして、麒麟のまち圏域及び中心市街地の活性化をはかる。（８月）
・こども茶道体験会
茶道の基本的な作法を気軽に学ぶことが出来る体験会。やってみよう！でー(ｄａｙ)に合わせて開催。（４月）

・ＧＡＢＥＺ（ガベジ） ライブマンガ公演
パントマイムアーティスト（コンビ）
ＧＡＢＥＺ（ガベジ）による、ダンス×パントマイム×コメディーショー。（５月）

［ＧＡＢＥＺ（ガベジ）ライブマンガ公演］

・スタインウェイピアノを弾こう！
　世界の名器スタインウェイピアノを気軽に利用していただく体験会
（夏、冬の年２回開催）

・映画上映会
　映画上映団体「シネマふねえとる」との共催で、優れた映画作品や鳥取未公開の秀作を発掘・上映する。（１０月）

・～麒麟のまち～中学校吹奏楽フェスティバル
　若いアーティストの新たな交流、体験の場を提供し、互いのレベルアップをはかる。麒麟のまち圏域から参加校を募り、技術研修、交流、演奏披露を行う。（１月）

・ザ・クロマニヨンズ公演
　市民が多様なジャンルの文化芸術に日常的に触れ合うことを目的とし、ロックバンド「ザ・クロマニヨンズ」全国ツアーを誘致。
（３月）

ザ・クロマニヨンズ公演

（３）次世代育成支援事業（鳥取市受託事業）
　若者層を対象とした文化芸術事業を行い、文化芸術の振興と次世代育成の推進をはかる。

・０歳児からのコンサート
　文化芸術に触れる機会を得ることが難しい乳幼児とその保護者を対象とし、気軽に参加して生の音楽に触れさせることができるコンサート。
　出演者は地元の若手音楽家を起用し、文化芸術実践者の育成も併せて行う。
（年２回）

［０歳児からのコンサート］

・中学生のための吹奏楽クリニック２０２５
　市内中学校の吹奏楽部員を対象に、それぞれの各楽器の指導者を招き、専門の指導を行う。
　吹奏楽の底上げをはかるとともに、学校の域を超えた交流を促進し、将来の実践者の育成も併せて行う。（年３回）

［吹奏楽クリニック］

・和太鼓ワークショップ
　芸術を見るだけでなく、体験することを目的としたワークショップ。市内の子どもたちを対象に、伝統芸能を体験し、文化芸術に親しむ機会を設ける。普段は体験できない和太鼓の基礎奏法を学び、学んだ成果をステージで発表する。（年１回４講座）

・シルエット劇場
　保育園児、幼稚園児を対象に、園の行事として参加していただける演劇鑑賞会を開催。影は見るものの想像を掻き立て、創造力を育くむ格好の芸術。影絵と軽快な音楽で、子どもたちの心に残る思い出を提供する。
（年１回、午前・午後開催）

・次世代育成芸術家活動支援事業
　市内小中学生等を対象に、アート制作体験を通じた文化芸術の魅力を伝える。（年２回）
【第１回】令和７年８月（予定）
　出展芸術家：ＹＡＳＵ（ヤス）（エアブラシアーティスト）
【第２回】令和７年１２月（予定）
　出展芸術家：大月望愛（おおつきのあ）（日本画家）

（４）その他

①　掛出町内会との消防訓練の開催
②　地域との一斉清掃

５．鳥取市武道館等の管理運営

市民のスポーツ振興と健康の増進を図り、武道、テニスの普及に努めていく。指定管理期間の５年目を迎える。

（１）施設管理

①　鳥取市武道館
②　鳥取市千代テニス場・鳥取市城北テニス場
　４月～１２月・３月

（２）自主企画事業

①　武道教室（２事業）
　柔道、剣道の各連盟と連携を図りながら、武道を通して礼節、技術、体力を身に付け豊かな人間性の育成を目指す。

・柔道教室（年８０回）
　対象：幼児・小学生（定員３０人）
　　中学・高校生・一般（定員１５人）

・剣道教室（年８０回）
　対象：幼児・小学生（定員：１５人）

［柔道教室］

［剣道教室］

② 健康スポーツ教室（１事業）

・リラックスヨーガ教室

一般利用者の利用拡大と市民の健康増進をはかる。一般向けと中級者向けを開催。

［リラックスヨーガ教室］

（３）そ の 他

① 鳥取市武道館稽古始め及び鏡開き式

６武道７団体と協働で運営協議会を組織して開催

［稽古始め及び鏡開き式］

② テニス場無料開放

令和４年度から鳥取市教育委員会が導入している「やってみよう！でー！（ｄａｙ）体験的学習活動等休業日」に千代・城北テニス場を無料開放する。（５月、１１月／年２回）

③ 鳥取県認定健康づくり応援施設

（平成２５年１１月２９日認定）

６．鳥取市国府町コミュニティセンター等の管理運営

地域住民の文化の向上と福祉の増進を図り、鳥取市との協定内容の確実な履行を果たしていく。指定管理期間の５年目を迎える。

（１）施設管理

① 鳥取市国府町コミュニティセンター

② 鳥取市国府町農村勤労福祉センタープール　６月下旬頃～８月３１日

（２）自主企画事業

① 鳥取市国府町コミュニティセンターの自主事業

（３事業）

・ホールコンサート「きなんせ」

鳥取市在住または出身の音楽家の幅広い世代が楽しめるコンサート(年１回)

［ホールコンサート「きなんせ」］

・星を見る会

施設内アストロドームを活用、さじアストロパーク協力のもと、小学生と保護者を対象とした観測会を実施（年１回）

・親子で楽しむおはなし会

市内で活動する読み聞かせ団体による、親子で楽しめる読み聞かせ会（年１回）

② 鳥取市国府町農村勤労福祉センタープール

自主事業（１事業）

・水泳教室

夏休み中の市内小学生を対象に、鳥取市水泳協会指導員から、水泳の基本、楽しさを学ぶ。（年１回）

［水泳教室］

７．その他定款の目的を達成するために必要な事業

（１）ＳＤＧｓの実現に向けた取り組み

とっとりＳＤＧｓパートナー登録（令和４年６月３０日）

① 市民の皆様が心豊かに健康で過ごしていただけるよう、生涯学習やスポーツの機会を促進するとともに、質の高い文化芸術の提供に取り組みます。

② 女性の活躍を推進し、ハラスメントの防止や育児・介護への配慮など働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

③ 職員の人材育成を推進するとともに、職員の健康増進やワーク・ライフ・バランスの推進を図り、互いに成長しあえる職場づくりに取り組みます。

④ 資源消費の低減、業務のデジタル化、効率化に継続して取り組み、生産性向上と、コスト削減を目指します。

（２）地域の文化・芸術活動への協賛・後援

① 鳥取市民美術展　版画部門（協賛）

② 鳥取しゃんしゃん祭（協賛）

③ その他、地方自治体、文化団体等の活動に対する名義後援、広報協力

（３）その他の取り組み

① 鳥取県がん検診推進パートナー企業認定（平成２５年１２月４日）

② あいサポート団体認定（平成３０年１月５日）

③ 鳥取市男女共同参画かがやき企業認定（令和２年１２月１日）

④ 社員の健康づくり宣言事業所認定（令和３年１０月８日）

⑤ 家庭教育推進協力企業認定（令和５年１２月１５日）

⑥ 鳥取県男女共同参画推進企業認定（令和５年１２月２６日）